

令和5年度 黒部市吉田科学館事業計画について (2023年度)

1. 黒部市吉田科学館の基本方針

- (1) 楽しみながら自然と科学技術に対する関心と理解を深める場を提供する
- (2) 自然の不思議に感動し、創造や発見の喜びを知る場を提供する
- (3) 誰もが楽しめる科学・文化活動の場を市民と共につくる[※]
- (4) 幅広く外部と協力し、地域学習・探究活動を支援する
- (5) 科学博物館として持続可能な地域づくりに貢献する

※市民：黒部市民に限らず広く同じ目的を持つ同志を意味する。

2. 事業コンセプト

「体で学ぶ科学館」をテーマとし、科学館職員が来館者に接することによって科学に基づいた知識を伝える。以下、3テーマについて業務を展開する。

内容	フレーズ	目的
日常の科学	作ってみよう	科学及びモノづくりに対する興味・関心を高める
地域の科学	行ってみよう	地域の自然と文化についての愛着と理解を深める
宇宙の科学	のぞいてみよう	天文学と宇宙技術への興味・関心を高める



3. 令和5年度（2023年度）の主な事業について

科学館事業

- (1) 企画展「すごい火山 展」
- (2) プラネタリウム 100 周年記念事業
- (12) プログラミング教室

事務局運営

- (51) 博物館法改正に伴う中期計画（運営方針）策定
- (52) 令和6年度指定管理者更新に伴う申請準備

・科学館屋上防水工事の実施

特別事業

項目	内容	予算（単位：円）		
企画展 (地域の科学)	<p>(1) 企画展 すごい火山展 資料1—2</p> <p>テーマ：火山とマグマ</p> <p>目的・ねらい： 大地をつくる火山活動について、理解を深める機会をつくる。また、火山災害などの危険についても知らせる。</p> <p>展示内容： 国内の火山 10 個程度について、地形模型と岩石を展示する。地形模型には、航空写真と地質図をプロジェクションマッピングする。また、身近に感じられるようにするための工夫として、身近な岩石のでき方にも、火山やマグマの活動が大きくかかわっていることを示す。加えて、観光地で発生した火山災害の事例を紹介し、火山が身近でなくとも被害に遭う可能性があることを示す。宇奈月温泉の開湯 100 周年とも関連させ、なぜ火山活動のない地域（黒薮温泉）にも温泉が湧くのかを概説する。</p>	消耗品費 委託費 印刷製本費	280,000 100,000 40,000	
		小計	420,000	
	<p>連携イベント</p> <p>■ ワークショップ 地形模型を使った火山防災のワークショップ、台所の材料でできるキッチン火山実験などを実施する。</p> <p>■ 講演会 弥陀ヶ原や鷺羽での火山活動に関する講演会を火山学の専門家に依頼する。</p>	消耗品費 旅費交通費 諸謝金	18,000 2,000 20,000	
		小計	40,000	
		計	460,000	<参考> 前年度特別展： 1,060,000 円 （企画展と特別展を交互で開催しており、令和 5 年度は予算規模が小さい企画展開催年のため）

特別事業

項目	内容	予算 (単位:円)																											
記念事業 (宇宙の科学)	(2) プラネタリウム 100 周年記念事業 2023 年は近代的な光学式プラネタリウムが誕生して から 100 年を迎える記念の年である。国際プラネタリ ウム協会や、日本プラネタリウム協議会では、2023 年 10 月から、2025 年 5 月にかけて、プラネタリウム 100 周年を祝う記念事業が計画されている。 (1923.10/21 ドイツ博物館で関係者試写会開催) (1925.5/7 ドイツ博物館で常設展示) 当館では、プラネタリウムに関連したイベントを多数 開催し、プラネタリウムの魅力発信、プラネタリウム ファンの増加に努めたい。																												
	①プラネタリウムの仕組みを紹介するミニ展示 (10～11 月) ・現在プラネタリウムで活躍中の 光学式プラネタリウム MS-20AT の仕組み紹介パネル ・更新前の操作盤、恒星原板、イスの展示 ・県内プラネタリウム施設の紹介 ・館内展示中の光学式プラネタリウム (S-1) の紹介				印刷製本費 150,000 消耗品費 30,000	150,000 30,000	記念事業チラシ 展示用消耗品																						
	②講演会 (10 月後半もしくは 11 月前半) ・伊東昌市氏 (元国立天文台専門研究職員・黒部市出身) 日本のプラネタリウム業界の先駆者的存在。 プラネタリウムの歴史についての講演、4 次元デジ タル宇宙ビューワ「Mitaka」での投映等。				諸謝金 40,000 旅費交通費 35,000	40,000 35,000	講演 講演旅費																						
	③プラネタリウムコンサート (秋頃) シンセサイザー奏者滝沢卓氏のグループを招き、星空 と音楽、ドローン映像などを組み合わせたコンサートを 開催。				諸謝金 60,000 消耗品費 5,000	60,000 5,000	コンサート コンサートアロマ他																						
	④プラネタリウム観覧者数 50 万人達成イベント プラネタリウム観覧者累計 50 万人目のお客様に 科学館からプレゼントを用意。 ・50 万人目 ホームプラネタリウム等 ・50 万人前後のお客様にも景品を用意 (招待券等)				消耗品費 30,000	30,000	50 万人景品 張り紙																						
	<table border="1" data-bbox="284 1758 1008 2139"> <tr> <td>プラネタリウム観覧者数 (1月末 (累計))</td> <td>491,354人</td> </tr> <tr> <td>2月観覧者数 (推定)</td> <td>600人</td> </tr> <tr> <td>3月観覧者数 (前年度参考)</td> <td>745人</td> </tr> <tr> <td>4月観覧者数 (前年度参考)</td> <td>405人</td> </tr> <tr> <td>5月観覧者数 (前年度参考)</td> <td>1,055人</td> </tr> <tr> <td>6月観覧者数 (前年度参考)</td> <td>961人</td> </tr> <tr> <td>7月観覧者数 (前年度参考)</td> <td>1,359人</td> </tr> <tr> <td>8月観覧者数 (前年度参考)</td> <td>2,302人</td> </tr> <tr> <td>9月観覧者数 (前年度参考)</td> <td>1,056人</td> </tr> <tr> <td>10月観覧者数 (前年度参考)</td> <td>1,134人</td> </tr> <tr> <td>9月～10月あたりで50万人達成か?</td> <td></td> </tr> </table>				プラネタリウム観覧者数 (1月末 (累計))	491,354人	2月観覧者数 (推定)	600人	3月観覧者数 (前年度参考)	745人	4月観覧者数 (前年度参考)	405人	5月観覧者数 (前年度参考)	1,055人	6月観覧者数 (前年度参考)	961人	7月観覧者数 (前年度参考)	1,359人	8月観覧者数 (前年度参考)	2,302人	9月観覧者数 (前年度参考)	1,056人	10月観覧者数 (前年度参考)	1,134人	9月～10月あたりで50万人達成か?				
	プラネタリウム観覧者数 (1月末 (累計))				491,354人																								
	2月観覧者数 (推定)				600人																								
	3月観覧者数 (前年度参考)				745人																								
	4月観覧者数 (前年度参考)				405人																								
5月観覧者数 (前年度参考)	1,055人																												
6月観覧者数 (前年度参考)	961人																												
7月観覧者数 (前年度参考)	1,359人																												
8月観覧者数 (前年度参考)	2,302人																												
9月観覧者数 (前年度参考)	1,056人																												
10月観覧者数 (前年度参考)	1,134人																												
9月～10月あたりで50万人達成か?																													

	<p>⑤科学館ウィーク（秋開催）でのイベント プラネタリウム操作体験 親子向け、一般向け プラネタリウム工作 プラネタリウム投映機缶バッチのプレゼント</p> <p>⑥プラネタリウム番組制作体験会(秋～冬) ステラドームスクール（番組制作ソフト）を使って、 番組制作および投映発表を実施する 対 象：小学校 4～6 年生の親子 5 組 ※日常の科学 プログラミング事業連携事業</p> <p>⑦プラネタリウム 個人貸し切り利用プラン（夏） ご家族、観光客など個人のお客様を対象に プラネタリウム貸し切りプランを提供する ・開催期間 夏休み 8 回程度（1 回 40 分程度） 一般投映の時間外（16:00～17:00）に受入 ・1 回あたりの受入れ 1 組のみ（1～10 名まで） ・投映中の番組から選択 ・人数にかかわらず 1 回 3,000 円 （団体投映が 10 名以上から利用可能、 10 人分の料金を担保 300×10 名分=3,000 円） ・今回は単発のイベントとして開催し、今後の実施に ついては、利用者にアンケートを実施し、検討。</p> <p>⑧プラネタリウム企画・番組についてのアンケート実施 （夏～） プラネタリウムでの企画や投映番組について、市民か らどのようなニーズがあるのか調査し、次年度以降の 事業計画に反映する。</p> <p>⑨光学式プラネタリウム仕組みの紹介動画 星が点灯する仕組み、惑星を映す部位の紹介など、 短い動画を数本作成し、SNS 等で配信する。</p>	消耗品費	10,000	缶バッチ材料費
		小 計	360,000	
特別行事 （日常の科学 地域の科学 宇宙の科学）	<p>(3) (主) GW、お盆期間のイベント開催 来館者が増える大型連休期間にワークショップなど開催</p> <p>(4) (主) 科学館ウィーク (仮) 11/18 (土) ～26 (日) 子どもから大人まで、気軽に科学館を楽しんでもらうた め、科学館の 3 つのコンセプトに基づいたイベントを開 催する。お客さんが参加しやすいように、開催期間を 1 週間（週末 2 回含む）とし、関連施設の協力も得ながら 多数のイベントを企画したい。</p>	印刷製本費 通信運搬費 消耗品費 旅費交通費 諸謝金 食糧費 印刷製本費 通信運搬費 委託費	40,000 30,000 90,000 20,000 20,000 20,000 300,000 30,000 42,000	GW チラシ 県内学校配布 景品代等 講師旅費 講師謝金 講師・ スタッフ昼食 ポスター・ちらし 県内学校配布 駐車場誘
		小 計	592,000 円	
		計	952,000 円	<参考> 前年度予算 657,000 円

日常の科学

項目	内容	予算（単位：円）		
講座体験事業	■ 工作教室 (5) (主) 親子工作教室 (外部講師による教室・年3回程度) (6) (主) イベントでの工作、団体工作 (7) (主) 折り紙ヒコーキ工作教室（年1回）	(工作教室) 消耗品費 (折り紙) 消耗品費 食糧費 賃借料 印刷製本費 通信運搬費 諸謝金	30,000 70,000 30,000 15,000 10,000 40,000 30,000 30,000	定例工作教室 イベント工作等 協会準備金 講師スタッフ昼食 会場賃借料 ちらし印刷 ちらし配布 司会スタッフ等
	■ サイエンスショー（年3回切替え） (8) (主) 日常生活に関するテーマでの 実験ショー 5～8月「水のふしぎ」 9～12月「熱のふしぎ」 1～4月「力と運動のふしぎ」 （平日午前予約制 午後1回、土日祝日2回開演）	消耗品費	150,000	(1テーマ 50,000×3)
	■ クラブ活動（共催事業） (9) (共) 黒部少年少女発明クラブ(月1回程度) (10) (共) 小学校クラブ活動の指導 ■ 出前工作教室 (11) (共) 科学の祭典（黒部大会）8/6（日） ■ プログラミング事業 資料1-3 (12) (新) プログラミング体験教室 指導者協議会の設立、 体験教室の開催 等	諸謝金	64,000	プログラミング教室
展示事業	■ 常設展 (13) (主) 体験型展示物の設置・管理	消耗品費	60,000	
	■ 児童作品展示会の実施 (14) (共) 魚津地区理科自由研究発明くふう 参考展 (15) (共) 黒部市少年少女発明くふう展 (16) (共) 黒部市小中学校児童生徒科学作品 展覧会			(発明クラブ予算より支出)
調査研究事業	■ 調査研究 (17) 発明クラブ会合出席 (18) 他館への視察等	旅費交通費	20,000	視察等
		計	549,000 円	<参考> 前年度予算 605,000 円

地域の科学

項目	内容	予算（単位：円）		
展示事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 常設展示 (19) 身近な石の展示 ■ 岩石標本公開日 収蔵されている標本を公開する日を設ける。 年4回程度実施 	消耗品費	160,000	3Dプリンター消耗品代
講座体験事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講座体験事業 (20) (主) ジオパーク体験講座 ※変更 岩石鑑定を年3回程度 (21) (共) 標本観察会、フィールドウォッチング ※変更 夏：昆虫の観察 秋：川の生き物観察、野鳥観察 冬：雪を楽しもう (22) (共) くろべ水の少年団（6～8月・年7回） 	(自然教室) 旅費交通費	45,000 (30,000) (15,000)	外部講師旅費 ボランティア旅費
		消耗品費	60,000	ワークショップ消耗品
		賃借料	100,000	バス3回
		諸謝金	50,000	観察会謝金
		食糧費	5,000	ボランティア食事代
プラネタリウムドーム事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 立山黒部ジオパーク映画の上映 (23) (主) ジオパーク映画の投映 (24) (共) 市内小学校対象の学習投映 ■ 地域の科学に関するコンテンツの制作 (25) (主) 黒部の自然の全天周映像制作 			
調査研究事業	<ul style="list-style-type: none"> ■ 調査研究 (26) 立山黒部ジオパーク協会 ワーキンググループへの参画 (27) 関連研修会、学会への参加・発表 (28) 岩石標本の収集・整理 (29) 論文執筆 	旅費交通費	150,000 (50,000) (50,000) (20,000) (30,000)	岡山3日間 滋賀4日間 福井2日間 北陸内 日帰り 複数回
		支払負担金	10,000	
		消耗品代	110,000	
		計	690,000	<参考> 前年度予算 610,000 円

地域の科学

項目	内容	予算（単位：円）		
フィールドミュージアム事業	<p>■黒部川扇状地フィールドミュージアム推進協議会の資源を活用し、当館が協議会の事業を引き継ぎ、フィールドツアー事業、扇状地の水質調査を継続して行う（7年目）。</p> <p>(30) (主)ジオ&みずはくツアー 黒部川扇状地の成り立ちと水・自然・歴史をバスで巡る体験型フィールドツアー。 水循環、自然、動植物などテーマを変えながら年5回開催。</p> <p>(31) (主)ジオ&みずはく団体ツアー 黒部川流域の名水スポットや自然・歴史等の名所を巡り、黒部川の水循環を知りたい方に解説ボランティアを派遣 (開催日1か月前までに申込)。</p> <p>(32) (共)黒部川調査隊 黒部川の流れの速さ、温度など実際にふれてもらいながら学んでもらう体験教室。</p> <p>※令和4年度は「黒部川水のコンサート」内のイベントで実施。「黒部川水のコンサート」は、令和4年で現役員での開催は終了。 次年度も引き続き、開催があれば参加検討する。 開催がない場合も科学館主催事業として開催する。</p> <p>(33) (共)名水マラソン家族向けツアー ランナーのご家族は、選手がスタートするとゴールするまで空き時間が出来る。その時間を利用して黒部の魅力を知って頂くようなツアーを企画する。 ※マラソン事務局と調整しながら検討。</p>	諸謝金 旅費交通費 賃借料 印刷製本費 通信運搬費 消耗品費	270,000 5,000 538,000 278,000 42,000 52,000	講師、ツアー解説員謝礼 講師旅費 バス賃借料 ポスター、チラシ印刷費 ポスター郵送費 ツアー消耗品
調査研究事業	<p>■調査研究 (34) 黒部川扇状地の湧水調査（黒部市内）</p>	消耗品費 修繕費 燃料費 旅費交通費	34,000 20,000 12,000 20,000	調査備品 備品修繕 調査用移動車ガソリン 研修出席旅費
		事業費計 人件費計	1,271,000 <u>1,779,000</u> 計 3,050,000	

※収入（見込） 黒部市補助金 3,000,000 円 ツアー参加費 50,000 円

宇宙の科学

項目	内容	予算 (単位: 円)		
プラネタリウム ドーム事業	■プラネタリウム投映 (35) (主)一般番組 資料 1-4 (科学番組・子供向け番組) ※サブスクリクション制度を活用し、年間 6 本 番組を導入。幼児向けから学習向け番組、ヒー リング番組など幅広いニーズに合わせて番組を 投映する。 (36) (主) 職員生解説番組 (星空解説・Mitaka) (37) (主) 学習番組・幼児向け番組 小学4年生・中学3年生向け投映 幼児(七夕投映)等 (38) (主)オリジナル番組一挙投映(年1回) 科学館が過去作成したオリジナル番組の 一挙投映日	※一般番組使用料は、黒部市生涯学習文化課予 算より 使用料 3,300,000 円(一般番組使用料)		
		印刷製本費	980,000	ポスターフレット年4回
		通信運搬費	192,000	ポスター等送付年4回
	■プラネタリウムドーム多目的利用 (39) (主)ヒーリングプログラム(年1回程度) (40) (主)ベビープラネタリウム(年2回程度) (41) (主)天文講演会(年1回程) 七夕講演会等 (42) (主)プラネタリウムショー(年1回) (43) (主)英語でプラネタリウム(団体用) (44) (共)JAXAのロケット打ち上げ中継 放送(パブリックビューイング)	消耗品費	20,000	関連資料等
		消耗品費	50,000	プラネ機器等
		消耗品費	5,000	ヒーリング消耗品費
		賃借料	12,000	音楽使用料
		諸謝金	70,000	講演会・プラネショー
		食糧費	10,000	講演会・プラネショー
		旅費交通費	65,000	講演会・プラネショー
		印刷製本費	200,000	講演会・プラネショー
		通信運搬費	40,000	講演会・プラネショー
講座体験事業	■ 講座体験事業 (45) (主)天文教室(月1回) (46) (主)初めての天体望遠鏡教室(年1回) (47) (共)出前天文教室 生地灯台まつり・星空トロッコでの星空解説	諸謝金	70,000	講師
		消耗品費	50,000	望遠鏡関連
調査研究事業	調査研究 (48) 総会、研修会への参加 ・日本プラネタリウム協議会総会、研修会 ・北陸プラネタリウムWG研修会 ・全天周映像に関する研修会 ・プラネタリウム館への視察 (49) 調査研究 ・全天周映像を用いたオリジナル番組制作 ・プラネタリウム番組制作ソフトの活用	旅費交通費	50,000	全国大会(倉敷)3日間
		支払負担金	5,000	参加費等
		計	1,819,000	<参考> 前年度予算 2,008,000 円

事務局運営

内 容	予算（単位：円）		
(51) 博物館法改正に伴う中期計画（運営方針）策定 (52) 令和6年度指定管理者更新に伴う申請準備 (53) 広報活動 ・地域広報誌等での広報活動 ・ホームページ、SNSでの広報活動 ・団体利用案内の整備、広報への活用 (54) 年報の発行 (55) 来館者アンケートの実施 (56) 研修 県内博物館施設視察研修等 (57) 感染症対策	印刷製本費 旅費交通費 消耗品費	50,000 20,000 80,000	年報 視察研修 (県内・日帰り研修) コロナ対策消耗品
	計	150,000円	<参考> 前年度予算 270,000円